

中国・広州に子会社

物流機器を製造販売

NKE、低コスト・短納期化

【京都】NKE（京都府長岡京市、中村道一社長、075・955・0071）は2012年1月に、物流機器を製造販売する100%出資子会社を中国・広州市に開設する。同年6月から自動車や弱電関連の部品搬送装置を組み立てて日系メーカーに納める。現地での低コスト・短納期生産、一括的な技術サービスの提供により、受注を伸ばす。

生産・販売子会社は地元自治体や日本貿易振興機構（JETRO）が整備している広州市の工場団地に入居する。社名や資本金、売上高の計画などは今後詰める。建屋は延べ床面積1000平方メートル。総経理にはNKEの製造部長が就き、技術者と合わせて計2人を駐在させる。現地採用も含めて5人程度で発足する。

コンベヤーやエアチャック、スライドシリンダーなどで構成している小型搬送自動化装置を、ニーズに応じた仕様で組み立てる。主要部品は日本から供給し、コンベヤーの部品などは現地工場で加工する予定。部品の現地調達も検討する。

現地生産による短納期化とコスト低減、高品質

であることを訴求する。すべてを自社製部品で組み立てるため、部品レベルから一括した技術サービスを提供できる。すでに広州の日系自動車関連

メーカーから引き合いがある。

NKEは長さ8級までの小型搬送装置が強い。顧客が中国などでの現地調達にシフトしていることを受け、日本からの輸出ではコストや納期で不利になると判断して中国生産に踏み切る。

現地顧客も開拓するほか、中国生産品を日本や東南アジアに市場投入することも視野に入れて事業を展開する。